

体育教員が日本について英語で教えてみたら。 Vol.13

2018年1月3日水曜日、オーストラリアから素晴らしいゲストが長田高校を訪れてくれました。2016年度教員派遣交流事業で西オーストラリア州に滞在中、偶然に知り合ったジャスティン・ハーバード氏です。

ハーバード氏は、31年前に長田高校へ3週間短期交換留学生としてやってきた人物です。詳しくは、下記のページで紹介していますので、合わせてご覧下さい。

長田高校 HP → 国際交流・国際理解 → 交換教諭豪州レポート
→ 「体育教員が日本について英語で教えてみたら。Vol.9」

昨年2月に共通する友人の誕生日パーティーで出会い、連絡を取り合っていました。年末年始にかけて神戸に遊びに来るというのです。学校の案内でもできないものかと考えていました。

そんな年末のある日、ハーバード氏が神戸に来る話を全く別の男性から電話連絡を受けました。その方は、ハーバード氏が長田高校に短期留学した際にホストファミリーとして受け入れをした奥藤さん(41回生)でした。来日に合わせて連絡を取っている際に、ハーバード氏から長田高校に勤める私の話をしてくれたそうで、連絡を下さいました。短期留学を終え帰国した後も30年以上に渡って、家族ぐるみで親交があることに驚きました。

1月3日に来校されるということで、私もサプライズゲストに声をかけました。それは32年前に長田高校から派遣教員として西オーストラリア州で日本語を教えた延藤十九雄先生(世界史)です。ハーバード氏が高校生の頃、現地で日本語の授業を担当した先生で、この縁があってハーバード氏が長田高校に留学することになりました。31年ぶりの再会で昔話に大いに花が咲きました。

1987年に3週間短期留学した生徒がこうして時を越え、また長田高校を訪れてくれるとは、なんと不思議な、そして感動的な話でしょうか。交換留学の記念に贈られた卒業記念メダルを今も大切に持っておられました。

昔話の後には、教室校舎ツアーをしたり、神撫台グラウンドに上がったりしました。1994年に新校舎に建て替わったので校舎に当時の面影はありませんでしたが、グラウンドに上がったら、周回走を思い出したそうです。やっぱり走っていたんですね。

国際交流プログラムを通して築いた素晴らしい人の繋がりが今後もずっと続いてほしいと感じました。



左から奥藤さん、延藤先生ご夫妻、ハーバード氏、筆者



第38回の卒業記念メダル